

(メッセ海外通信 2011年1→3月号掲載記事)

～2020年の釜山を体感できる「釜山未来都市館」と「10大プロジェクト」～

下関市総合政策部国際課
(釜山広域市派遣職員)
植田 禎俊

2020年の韓国・釜山広域市はどのような都市になるのでしょうか？

現在、釜山では10件の大規模プロジェクトが進行しています。この度、このプロジェクトが完成する10年後の釜山の未来を、時を超えて覗いてみる事ができる釜山未来都市館（プサン・ドリーム・スペース）が市役所1階にオープンしましたので、今回は「釜山未来都市館」と「釜山10大プロジェクト」をご紹介します。

■釜山未来都市館について

「釜山未来都市館」には4,000分の1の未来の釜山の模型が展示されている公共情報センターを始め、歴史ホール、現代ホール、未来ホール、メモリアルホールがあり、それに加えて最新式のマルチメディアを駆使して未来の釜山を体感することができる4Dビデオルームがあります。釜山にお越しの際は、未来の釜山を覗いてみてはいかがでしょうか？

オープン：平日9：00～18：00 入場無料 釜山市役所1階

■釜山10大プロジェクトについて

1) 釜山新港周辺に国際産業物流都市を建設

世界有数の港湾である釜山新港に近い洛東江河口の江西地域に未来型先端産業の物流機能を具備した国際産業物流拠点を作ります。

2) セントラルベイ（釜山北港）再開発

釜山北港の港湾機能を釜山新港に移し、その後、先端ビジネス、海洋文化観光、市民の憩いの場の機能を備えたウォーターフロント空間として一新します。

3) 北東アジア地域のハブ港湾育成

北東アジア地域は世界物流の中心地として浮上してきており、釜山港を「高付加価値物流を創出する先端港湾」に躍進させ、北東アジア地域のハブ港湾に育成します。

4) 釜山市民公園の造成

市街地の真ん中に位置する旧・在韓米軍基地「キャンプ・ハヤリア」の跡地に「自然・文化・美」が一体となった「釜山市民公園」を作ります。



完成予想図 (左) セントラルベイ (釜山北港) (右) 釜山市民公園

5) 東釜山観光・コンベンションクラスターの造成

機張地域に国際水準の滞在型複合リゾートである「東釜山観光団地」を作ります。観光特別区である海雲台ビーチにも超大型複合リゾート観光施設をオープンさせるとともに観光資源を開発し、また、国際コンベンション施設「BEXCO」も拡充します。

6) 映画・映像タウンの造成

映画・映像産業は高い成長が見込まれる釜山の未来産業です。世界的な映画祭に成長した釜山国際映画祭の専用上映館を建設し、釜山をアジアの映画・映像ハブ都市にします。

7) 門岷金融センター造成

釜山門岷金融団地は政府より「金融中心地」に指定され、国内外の金融機関が次々と移転してくる予定です。釜山は先端の金融技法を身につけた金融専門家の育成に向けた基盤を整備するとともに、海洋、海運、水産市場部門の世界金融ハブ、及びアジアにおける金融派生市場のハブとして本格的に乗り出します。



完成予想図 (左) 釜山シネマセンター (右) 門岷金融センター

8) 韓国東南圏地域交通網拡充

釜山・蔚山・慶尚南道は一つの生活経済圏であり、圏内の住民800万人がより早く便利に移動できるよう広域交通網を構築します。

9) 東北アジア第2ハブ空港建設

世界都市釜山の更なる発展のため新たに国際空港の建設を計画しています。韓国東南圏の企業の物流コスト削減を通じて、企業競争力を強化するとともに、1500万の韓国南部地域住民の航空利用における利便性を向上させるための事業です。

10) 2020年夏季オリンピック誘致

アジア大会を成功させるなど豊富な経験や実績がある釜山に、世界最大の祭典であり、世界一流の都市に跳躍させるオリンピックの誘致を行います。